

令和 7年12月17日

各 位

| | |
|--------------------|--------------------------------|
| 外国投資法人名 | ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド |
| 代表者 | ヴィノット・ラジブット |
| 管理会社名 | ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| (管理会社コード 16724) | |
| 代表者 | ヴィノット・ラジブート |
| 問合せ先 | TMI総合法律事務所 |
| 担当者 | 中川秀宣 |
| (TEL 03-6438-5660) | |

上場ETF(管理会社:WisdomTree、外国投資法人:CSL)に関する日々の開示事項

ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド(WisdomTree)を管理会社に、
ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド(CSL)を外国投資法人として上場する
以下のETF銘柄について、令和 7年12月16日現在の状況をご報告します。

上場ETF 銘柄(14銘柄)

| 掲載番号 | 銘柄名 | 銘柄コード | 上場取引所 |
|------|---|-------|-------|
| 1 | WisdomTree ブロード上場投資信託(商品ETF) | 1684 | 東 |
| 2 | WisdomTree エネルギー上場投資信託(エナジーETF) | 1685 | 東 |
| 3 | WisdomTree 産業用金属上場投資信託(メタルETF) | 1686 | 東 |
| 4 | WisdomTree 農産物上場投資信託(アグリETF) | 1687 | 東 |
| 5 | WisdomTree 穀物上場投資信託(穀物ETF) | 1688 | 東 |
| 6 | WisdomTree 天然ガス上場投資信託(ガスETF) | 1689 | 東 |
| 7 | WisdomTree WTI 原油上場投資信託(原油ETF) | 1690 | 東 |
| 8 | WisdomTree ガソリン上場投資信託(ガソリンETF) | 1691 | 東 |
| 9 | WisdomTree アルミニウム上場投資信託(アルミETF) | 1692 | 東 |
| 10 | WisdomTree 銅上場投資信託(銅ETF) | 1693 | 東 |
| 11 | WisdomTree ニッケル上場投資信託(ニッケルETF) | 1694 | 東 |
| 12 | WisdomTree 小麦上場投資信託(小麦ETF) | 1695 | 東 |
| 13 | WisdomTree とうもろこし上場投資信託(コーンETF) | 1696 | 東 |
| 14 | WisdomTree 大豆上場投資信託(大豆ETF) | 1697 | 東 |

* 各銘柄の状況につきましては、次のページ以降をご参照ください。なお、各銘柄名をクリックしていただくと、各銘柄の状況が表示されます。

以上

[掲載番号1]

令和7年12月17日

各 位

| | |
|---|--|
| 外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1684) | ヴィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ヴィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| 代表者 問合せ先 担当者 | ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree ブロード上場投資信託(商品ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

7,147,582 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

13,798,948,308 円 (89,180,820.19 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

1,931 円 (12.48 米ドル)

4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

-0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} \right) \times 100 (\%)$$

$$\left(\frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もつとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸送(バックワードインボン: backwardation)」: 期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなります。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及ぶ、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものといいます。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっているスポット価格に収束していく従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

[掲載番号2]

令和7年12月17日

各 位

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 外国投資法人名 | ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド |
| 代表者 | ヴィノッド・ラジプート |
| 管理会社名 | ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| (銘柄コード 1685) | |
| 代表者 | ヴィノッド・ラジプート |
| 問合せ先 | TMI総合法律事務所 |
| 担当者 | 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree エネルギー上場投資信託(エナジーETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

16,349,030 口2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)
(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)7,902,999,808 円 (51,076,066.75 米ドル)3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)
(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)483 円 (3.12 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)-0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} \right) \times 100 (\%)$$

前営業日の上場ETFの
一口あたりの資産額

前営業日の
特定の指標の終値

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月版の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約の差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約における市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆戻(バックワード・ディジョン: backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆戻の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆戻は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順戻(コンタゴ: contango)」市場で取引されてきたものもあります。順戻市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において順戻が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなります。このため、商品指数及び単一商品指数の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆戻又は順戻を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆戻及び/又は順戻がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順戻(又は逆戻)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。先物曲線には異なる満期を有する先物契約に関する、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをお見せします。商品先物曲線の関連する部分が逆戻となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順戻の場合には、反対の結果が生じます。

以 上

[掲載番号3]

令和 7年 12月 17日

各 位

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 外国投資法人名 | ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド |
| 代表者 | ヴィノッド・ラジプート |
| 管理会社名 | ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| (銘柄コード 1686) | |
| 代表者 | ヴィノッド・ラジプート |
| 問合せ先 | TMI総合法律事務所 |
| 担当者 | 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree 産業用金属上場投資信託(メタルETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

50,832,197 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

131,394,385,389 円 (849,184,937.56 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

2,585 円 (16.71 米ドル)

4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。单一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸送(バックワードレーション:backwardation)」期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(コンタング:contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指数及び単一商品指数の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものであります。商品先物曲線の形状に依存しています。)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

[掲載番号4]

令和7年12月17日

各 位

| | |
|--------------|--------------------------------|
| 外国投資法人名 | ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド |
| 代表者 | ヴィノッド・ラジプート |
| 管理会社名 | ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| (銘柄コード 1687) | |
| 代表者 | ヴィノッド・ラジプート |
| 問合せ先 | TMI総合法律事務所 |
| 担当者 | 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree 農産物上場投資信託(アグリETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

25,613,328 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

23,317,833,305 円 (150,700,144.16 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

910 円 (5.88 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)-0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} \right) \times 100 (\%)$$

$$\left(\frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月版の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約の差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約における市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆戻(バックワード・ディジョン:backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆戻の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆戻は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順戻(コンタゴ:contango)」市場で取引されてきたものもあります。順戻市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において順戻が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指数及び単一商品指数の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆戻又は順戻を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆戻及び/又は順戻がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順戻(又は逆戻)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。先物曲線とは、異なる満期を有する先物契約に関する、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆戻となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順戻の場合には、反対の結果が生じます。

以 上

[掲載番号5]

令和7年12月17日

各 位

| | |
|------------------------------|---|
| 外国投資法人名 代表者 | ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート |
| 管理会社名 (銘柄コード 1688) 代表者 | ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド ヴィノッド・ラジプート |
| 問合せ先 担当者 | TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree 穀物上場投資信託(穀物ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

4,758,802 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

2,411,296,432 円 (15,583,897.32 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

507 円 (3.27 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします)、「逆輸送(バックワード・ディジョン: backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(contango)」市場で取引されてきたことがあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において順輸送が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスになります。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、单一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び/又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっているスポット価格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

[掲載番号6]

令和 7年 12月 17日

各 位

| | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 外国投資法人名 代表者 | ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド |
| 管理会社名 (銘柄コード 1689) | ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| 代表者 | ヴィノッド・ラジプート |
| 問合せ先 | TMI総合法律事務所 |
| 担当者 | 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree 天然ガス上場投資信託(ガスETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

15,851,072 口

2. 上場ETFの資産総額（令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在）
(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

15,135,136,389 円 (97,816,431.13 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額（令和7年12月17日午前0時（ロンドン時間2025年12月16日午後4時）現在）（上場ETF一口あたりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指數が追隨する米国先物市場終了後に確定される指數の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時（ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時）現在のブルームバーグによる為替レート（1米ドル＝154.73円）により計算しています。）

954.83 円 (6.17 米ドル)

注:当面、小数点以下2桁目まで表示しております。

4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「*ensembling* (rolling)と呼ばれます。單一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に乗り換えて、次回の買付日まで販売されています。

入れ替えられます。従って、例えは、8月に買付され、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。
時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることがあります。もともと期近の先物契約と期遠の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします)、「逆輸入(バックワード・ティーン:backwardation)」期近の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸入の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸入は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸(コンタゴン:contango)」市場で取引されたものもあります。順輸市場とは、先物契約の価格が期限月のよりも、期限先月のものが高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸が存在しない結果として、「買換えに伴う収益」がマイナスになります。このため、商品指指数及び單一商品指指数の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これによ連する期近先物契約及び次期近先物契約はフルームバーゲン商品3ヶ月先物指指数において用いられているものとは異なるため、先物曲線の開連する部分が異なる量の逆輸又は順輸を示している場合、両指指数に異なる形で影響を及ぼす逆輸及び/又は順輸がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸(又は逆輸)が存在することによって、自動的に「異業種に伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な業種換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形態に依存しています。「先物曲線」とは、異なる期間を持つ先物契約間に開連する先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものといいます。商品先物曲線の開連する部分が逆輸となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなってしまう(ソボル性)傾向に恵まれ、従って逆輸の指指数は上昇する傾向があります。順輸の場合には、対応の絶対が生じます。

四

[掲載番号7]

令和 7年 12月 17日

各 位

| | |
|---|--|
| 外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1690) | ヴィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ヴィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| 代表者 問合せ先 担当者 | ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree WTI 原油上場投資信託(原油ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

69,453,072 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

91,674,685,316 円 (592,481,647.49 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

1,320 円 (8.53 米ドル)

4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約における市場が(その他の要因は考慮しないものとします)、「逆戻(バックワードーション:backwardation)」期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆戻の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆戻は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順戻(コンタング:contango)」市場で取引されてきたのもあります。順戻市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆戻が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指数及び単一商品指数の面倒に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆戻又は順戻を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆戻及び/又は順戻がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順戻(又は逆戻)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆戻になっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順戻の場合には、反対の結果が生じます。

以 上

[掲載番号8]

令和 7年 12月 17日

各 位

外国投資法人名 ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド
代表者 ヴィノッド・ラジプート
管理会社名 ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
(銘柄コード 1691)
代表者 ヴィノッド・ラジプート
問合せ先 TMI総合法律事務所
担当者 中川秀宣
(TEL 03-6438-5660)

WisdomTree ガソリン上場投資信託(ガソリンETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

97,672 口

2. 上場ETFの資産総額（令和7年12月17日午前0時（ロンドン時間2025年12月16日午後4時）現在）
(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時（ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時）現在のブルームバーグによる為替レート（1米ドル=154.73円）により計算しています。)

731,859,821 円 (4,729,915.47 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額（令和7年12月17日午前0時（ロンドン時間2025年12月16日午後4時）現在）（上場ETF一口あたりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時（ユーロ一時2025年12月16日午後5時）現在のブルームバーグによる為替レート（1米ドル＝154.73円）により計算しています。）

7,493 円 (48.43 米ドル)

4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

- ### 5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から償付されますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「キャスティング（rolling）」と呼ばれます。单一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約へ

ハイドロカルボンなどにつく例は、8月に買入代引で休保されている先物契約が10月に開港する場合もあり。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もともと期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、乗換えに伴う収益(roll yield)と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約がかかる市場が(その他の要因は季節性のほか)、上昇相場の場合は現物市場の価格が先物市場の価格より「ナーベル」(ナーベル)と呼ばれています。

「過去に契約したうえで、今度は生物認証の手続を希望する」とおっしゃる場合は、契約書に記載してある「契約書に記載する手続」を実行していただけます。契約書に記載する手續は、生物認証の手續です。

更に、商品指數・反映されている一定の商品間に、いざい、「順轉(コントango)」市場で取引されてしまう場合もあれば、順轉市場では、元物交換による価格が期初限月のよりも、期初限月のものが高くなっている市場のことです。通常の商品市場において逆落が存在しない結果として、「乗換」による「上位収益」がマイナスとなります。このため、商品指數及び単一商品指數の価値に悪影響があり、その結果として、マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指數上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指數における期初先物契約及び期次先物契約が約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指數において用いられているものとは異なるため、先物曲線の開拓する部分が異なる量の逆落又は順轉を示している場合、兩指數に異なる形で影響を及ぼす逆落又は順轉が発生する可能性があります。しかし、特定の商品市場において順轉(又は逆落)が存在することによって、自動的に「乗換」に伴う収益がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換と一緒に伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存します。「先物曲線」とは、異なる期月を有する先物契約に關し、先物契約の価格範囲の相関関係をグラフで表したものです。商品先物曲線の開拓する部分が逆落となっている(下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなってしまう(スボルト価格)に恵む。従って、開拓する指數は上昇する傾向があります。順轉の場合には、対応の結果が牛になります。

[掲載番号9]

令和7年12月17日

各 位

| | |
|---|--|
| 外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1692) | ウェイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ウェイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| 代表者 問合せ先 担当者 | ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree アルミニウム上場投資信託(アルミETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

12,990,794 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

7,555,079,232 円 (48,827,501.01 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

582 円 (3.76 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。单一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もつとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆耕(バックワードレーション: backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆耕の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆耕は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順耕(コンタング: contango)」市場で取引されてきたものもあります。順耕市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも高くなっている市場のことです。特定の商品市場において順耕が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指数及び単一商品指数の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆耕又は順耕を示している場合、両指数に異なる形で影響を及ぼす逆耕及び/又は順耕がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順耕(又は逆耕)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順耕の場合には、反対の結果が生じます。

[掲載番号10]

令和7年12月17日

各 位

| | |
|---|---|
| 外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1693) 代表者 問合せ先 担当者 | ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |
|---|---|

WisdomTree 銅上場投資信託(銅ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

30,188,346 口2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)
(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)218,384,695,402 円 (1,411,392,072.65 米ドル)3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)
(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)7,234 円 (46.75 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。单一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もつとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸送(バックワーディション:backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に「順輸送(contango)」市場で取引されたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のもののよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないとの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び単一商品指標の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び又は順輸送がたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。先物曲線とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

以上

[掲載番号11]

令和7年12月17日

各 位

| | |
|---|--|
| 外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1694) | ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| 代表者 問合せ先 担当者 | ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree ニッケル上場投資信託(ニッケルETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

7,840,366 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

15,269,766,914 円 (98,686,530.82 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

1,948 円 (12.59 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。单一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もつとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないもの)です。「逆耕(バックワードレーション:backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆耕の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆耕は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順耕(コンタング:contango)」市場で取引されてきたものもあります。順耕市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆耕が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスになります。このため、商品指数及び単一商品指数の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆耕又は順耕を示している場合、両指數に異なる形で影響を及ぼす逆耕及び又は順耕がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順耕(又は逆耕)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指數は上昇する傾向があります。順耕の場合には、反対の結果が生じます。

以 上

[掲載番号12]

令和 7年 12月 17日

各 位

| | |
|---|--|
| 外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1695) | ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド |
| 代表者 問合せ先 担当者 | ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree 小麦上場投資信託(小麦ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

5,379,380 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

14,239,221,585 円 (92,026,249.50 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

2,647 円 (17.11 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} \right) \times 100 (\%)$$

$$\left(\frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸送(backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において順輸送が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。そのため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び/又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものといいます。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているストップ価格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

以上

[掲載番号13]

令和7年12月17日

各 位

| | |
|------------------------------|---|
| 外国投資法人名 代表者 | ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート |
| 管理会社名 (銘柄コード 1696) 代表者 | ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド ヴィノッド・ラジプート |
| 問合せ先 担当者 | TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree とうもろこし上場投資信託(コーンETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

1,016,103 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

2,934,001,822 円 (18,962,074.72 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

2,888 円 (18.66 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left\{ \frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} \right. - \left. \frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right\} \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられます。もともと期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないもの)です。)「逆輸入(バックワード・ショット:backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸入の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸入は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸入(contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸入市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸入が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸入又は順輸入を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸入及び又は順輸入もたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸入(又は逆輸入)が存在することによつて、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものであります。商品先物曲線の関連する部分が逆輸入となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっているスポット価格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸入の場合には、反対の結果が生じます。

以上

[掲載番号14]

令和 7年 12月 17日

各 位

| | |
|------------------------------|---|
| 外国投資法人名 代表者 | ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート |
| 管理会社名 (銘柄コード 1697) 代表者 | ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド ヴィノッド・ラジプート |
| 問合せ先 担当者 | TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660) |

WisdomTree 大豆上場投資信託(大豆ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

567,086 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

2,298,945,124 円 (14,857,785.33 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月17日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月16日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=154.73円)により計算しています。)

4,054 円 (26.20 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和 7年12月17日午前0時(ロンドン時間2025年12月16日午後4時)現在)0.01%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left\{ \frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right\} \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から償付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もともと期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸送(backwardation)」(期先の満期の先物契約の方が期近の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっているスポット価格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。